

学校名	佐賀県立佐賀商業高等学校
1 前年度 評価結果の概要（簡潔に）	・家庭学習時間の確保のために、学習ソフトを活用して生徒の自発的な学習を促し、基礎学力の定着向上を目指す。 ・新しい学力観に基づいた指導実践により、プレゼン大会への参加数の増加や発表の場での高い評価を得られてしている。生徒の自発的主体的な活動を促し、一層の充実を図りたい。
2 SAGASクール・ミッション 学校教育目標	○佐賀県の商業高校の拠点校として、これからの時代に求められる商業教育について検討を進めること。 ○各学科の特色を生かし、自治体・高等教育機関・地域の産業界等との協働・連携による実践的かつ探究的な教育活動の充実を図り、グローバルな視点でコミュニティを支える地域のリーダーを育成すること。

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
	（1）勉強と部活動の両立をめざして意欲的に取り組む生徒を募集します。 （2）高い志を持ち、目標達成のために努力できる生徒を募集します。 （3）商業分野の学習に関心があり、資格取得に意欲的に取り組む生徒を募集します。	（商業科） 独創性を持ち自由な発想ができるクリエイティブな能力を備え、時代の変化に対応し、積極的に活動して情報発信できる人材教育を行います。 ビジネス社会で「即戦力」として活躍できる力をつけるために、簿記・流通経済・情報処理など多岐にわたる分野の学習を行い、多くの資格取得をめざすとともに、選択科目では商品開発や販売などの実 （グローバルビジネス科）※くくり募集のため2年次より異文化理解や多文化共生の考え方にに基づき、文化や環境が異なる多国籍の人々と協働できる力を備え、国際社会に自信を持って発信できる「コミュニケーション力」と「グローバルマインド」を兼ね備えたグローバル人材教育を行います。 そのために、日商簿記2級や実用英語検定2級などの高度な資格取得をめざすとともに、第2外国語（中国語・ハングル語）の学習や、特色ある学校設定科目を通じた探究活動や体験学習、国際交流などの教育活動を行います。	（情報処理科） Society5.0を支えるIoTの時代の革新的技術への理解を深め、デジタル化・グローバル化のツールとして、デジタルネットワークを活用してニーズに合ったサービスを提供できるクリエイティブな人材教育を行います。 そのために必要なビジネス情報やプログラミングの専門分野の学習を行い、さらにインターネットショッピングモールの運営（eビジネス）、ホームページの作成、動画処理や3Dコンテンツやゲームなどのハイレベルな作品制作の教育活動を行います。 校訓『誠実・努力』のもと、高校卒業までに身に付けてほしい資 （1）共通科目や商業に関する専門科目を通して、知識・技能の習得を （2）課題を発見し、解決策を考える実践的な学習を通して課題対応力 （3）様々な教育活動を通して他者との関わりのおかげで、協働性を身 （4）他者を思いやる行動や高い規律意識を持った行動ができるよう、 （5）グローバル化が進む地域社会・国際社会において、多様性を尊重し、 （6）学習活動や各種検定・高度資格取得の挑戦を通して、主体性を身 （7）勉強と部活動の両立を通して、基本的生活習慣の確立と、健康や

4 本年度の重点目標	(1)学習指導、学校行事や部活動等を通して、真の学力を育成する (2)生徒の主体性（自分で考え行動し、責任を持つ）を高め創造力を育成する教育活動
------------	---

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				
重点取組				具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		
●学力の向上	○主体的な学びを重視した授業の促進	○SSプレゼン大会への自由参加を10グループ以上にする	・課題研究以外の、様々な大会やコンクールに参加した生徒に成果発表の機会を与える ・課題配信ソフトの基礎課題の学習の充実を図る	
	○自ら学ぶ姿勢と確かな学力の育成	○学力診断テストのDゾーン30名未満を目指す		
	○家庭学習時間の確保と学力の向上	○家庭学習時間を60分以上にする	・課題配信ソフトの利用を向上する ・週末課題等の充実を図る	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○毎学期実施する教育相談アンケート(いじめ・体罰)において、学校生活において「困っていない」と回答する生徒の割合80%を目指す ○図書館来館者数、貸出冊数の増加(生徒1人当たり貸出冊数2.0冊以上)を目指す	・人権同和教育における年間指導計画の策定 ・教職員研修の強化 ・環境整備、情報提供、蔵書の充実を図る	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ問題の対応への評価を90%以上とする ○生徒の情報共有の徹底(100%)	・いじめ防止強化月間(5月・12月)における啓発活動の実施 ・個人面談(4月、9月)、Hyper-QU検査(1回)、生活状況調査(いじめ等のアンケート・各学期に1回、計3回)を実施し、生徒の学校・家庭での状況を知り、学年団との情報共有を図る ・スクールカウンセラーの積極的活用 ・教育相談だよりでの啓発	
	○モラル・マナー教育の充実 ○ルールメイキングプロジェクトの推進	○「情報モラルを守っている」「挨拶や礼儀を身につけている」と回答した生徒を95%以上とする ○「学校生活が充実している」と回答した生徒を95%以上とする	・情報モラルアンケート(年2回)を実施し、モラルの向上や意識づけを図る ・情報モラル教育では、関係外部機関との連携による講演会を実施する ・ルールメイキングプロジェクト委員会を月1回実施し、学校生活面の課題を自ら考え、より良い学校生活にするための改善、行動する機会を設ける	
	◎★佐賀県や本校への愛着を醸成する教育	◎★郷土愛に関する内容の講演会や「佐賀語り」読書を通じて、郷土や学校に対する愛着度のアンケートを行い、「愛着がある」と回答した生徒を85パーセント以上とする	・佐賀県や学校の歴史を講演会で学び、佐賀県や学校の良さを実感し、愛着を持つ ・「佐賀語り」を教材として、定期的にホームルーム活動の中で読書・討議を行う	
	●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」生徒80%以上 ●生徒の交通事故(重大事故)を年間0にする	・保健だよりで、健康維持のために必要な情報を提供し、生徒の健康に対する意識を高める ・学期に1度、健康調査を実施する ・交通安全と防犯、違法薬物について関係機関と連携し、講演会を実施する(5月、6月) ・関係機関、生徒会と連携し、自転車安全運転を呼び掛ける ・長期休業中前に生徒心得を発行し、生徒へ事件、事故に対する注意喚起を行う
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する ○時間外勤務の時間を年間平均で前年比5%減	・定時退勤日(月曜)の設定と掲示や口頭による啓発を行う ・長期休業中における学校閉庁日を設定する ・学校基本方針に沿った部活動の活動時間および休養日を徹底する	
	○積極的な休暇取得の推進	●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上 ○職員会議の時間削減(原則1時間以内)	・各学期末に年次休暇取得が少ない職員に声掛けを行い、長期休暇中の年次休暇の取得を促す ・校務システムのメッセージやメール機能を活用して情報共有を図ったり、協議事項と報告事項を区別して、会議の進行にメリハリをつけ、会議時間を原則1時間以内とする	
●特別支援教育の充実	○教職員の専門性の向上に向けた取組みの充実	○職員研修や情報共有の ○関係機関との連携強化	・スクールカウンセラーによる研修の実施 ・生徒の支援計画を軸に、適切な対応について職員と情報共有し、必要な場合は速やかにSCやSSWおよび関係機関との連携を図る	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				
重点取組				具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★県内外への生徒主体の情報発信等、広報活動の展開	○2か月に1回の学校だよりの定期的な発行	・行事や生徒の活躍をまとめて情報発信するとともに、Webページを利用したタイムリーな情報発信をする	
○活力ある学校づくり	○系統的な進路指導の充実	○学年の段階に応じたキャリア教育 ○3年生の進路100%決定	・系統的な指導のため、Cisaaiの活用で生徒の活動記録を効率よく確実に管理する方法を検討する ・進路実現100%という最終目標に向け、学年に応じた段階的な目標を設定し、学年団と連携しながら指導を行う ・星プランで主体的に学ぶ力をつけさせる。	
	○高い志を持ち、自らの目標の実現に向けて主体的に取り組む生徒の育成	○「学校生活が充実している」と回答した生徒・保護者を95%以上とする	・ルールメイキングプロジェクト委員会を月1回実施し、学校生活面の課題を自ら考え、より良い学校生活にするための改善、行動する機会を設ける。	
	○3学科の特性を生かした取組の推進と広報活動の強化	○校外での販売実習を年1回以上、課題研究において地域と連携した活動を年3回以上実施する。(商業科) ○校外実習活動を年2回、県内在住の外国人との交流を3回実施する(グローバルビジネス科) ○地域貢献活動を含む校外PR活動を年3回以上、情報配信を年10回以上実施(情報処理科)	・「きやーもん祭実施」、「茗荷塾との交流活動」等を実施する ・佐賀の歴史・文化に触れる体験学習を充実する(グローバルビジネス科) ・グローバル社会に共生するための助言を受け、海外留学生との交流を図る(グローバルビジネス科) ・高齢者対象のスマホ教室、小学生対象の情報モラル教室を実施する(情報処理科) ・Instagramにより情報を配信する(情報処理科)	

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育 ★・・・唯一無二の誇り高き学校づくり				
6 総合評価・次年度への展望（簡潔に）	・ ・ ・			